

株主の皆様へ

第201期 第2四半期

2018年1月1日 ▶ 2018年6月30日



信頼を未来へ

東京建物

証券コード：8804



代表取締役 社長執行役員
野村 均

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2018年度上期(2018年1月1日から6月30日まで)の連結業績につきましては、住宅事業において都心部の大型マンションの引渡を行った影響等により、営業収益は1,423億4千8百万円(前年同期比50.7%増)、営業利益は294億2千8百万円(同122.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は192億8千1百万円(同193.3%増)となりました。通期の連結業績につきましては、期初の業績予想のとおり営業収益2,800億円、営業利益は450億円、親会社株主に帰属する当期純利益は250億円となる見通しであります。なお、通期の連結業績予想に対して上期の連結業績の進捗率が高くなっておりますが、都心部の大型マンション等の引渡が上期に集中したためであります。

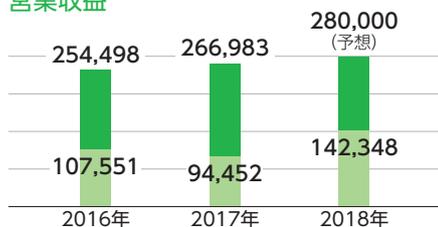
本年度の中間配当金につきましては、期初予定のとおり1株につき16円とさせていただきます。また、期末配当金につきましては1株につき16円、年間配当金につきましては32円(前年度の年間配当金と比べ2円の増配)を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも末永くご支援を賜りますようお願い申し上げます。

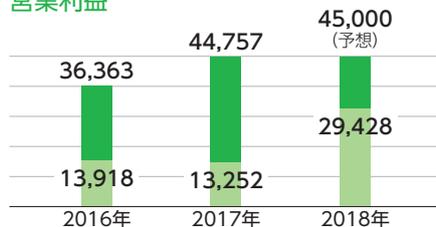
2018年9月

業績ハイライト

営業収益



営業利益



■ 第2四半期累計(中間) ■ 通期 (単位：百万円)

親会社株主に帰属する四半期純利益

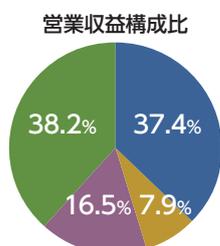


セグメント別 業績の概況

第2四半期累計(中間)

ビル事業
営業収益 54,403百万円
営業利益 16,864百万円

アセットサービス事業
営業収益 23,493百万円
営業利益 4,063百万円

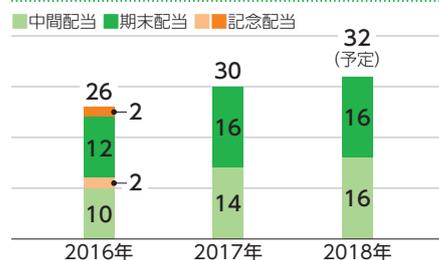


住宅事業
営業収益 53,190百万円
営業利益 12,616百万円

その他
営業収益 11,260百万円
営業損失 373百万円

1株当たり配当金

(単位：円)



東京建物グループが推進する主要プロジェクト



さいたま新都心駅徒歩5分
総計画戸数約1,400戸
「SHINTO CITY」



雷門・浅草寺に近接
「ホテルグレイスリー浅草」

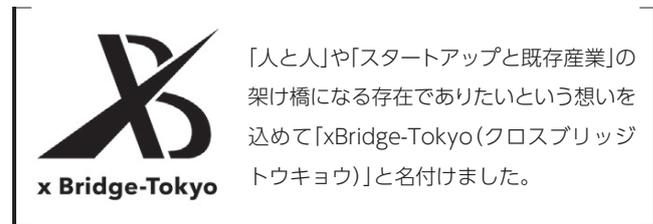


タイ・バンコク
分譲マンション開発事業



九州初の地下鉄駅直結・
免震タワーレジデンス
「Brillia Tower 西新」

東京建物本社ビルにスタートアップ向け支援施設「xBridge-Tokyo(クロスブリッジトウキョウ)」オープン



スタートアップとは？

既存のサービス等の延長線にはない、革新的なビジネスモデルを開発することで、世の中に新たな価値を提供しようとする企業や組織。一般に創業から間もなく、市場開拓の段階にあり、短期間で飛躍的な成長を目指すのが特徴。



東京建物は、本施設の運営を通じて東京駅前の八重洲・日本橋・京橋エリアにスタートアップが集積するきっかけをつくり、成長・挑戦を支援するほか、大手企業との交流を促進することでイノベーションを創出し、エリアひいては東京の競争力強化に寄与していきたいと考えております。

● 会社概要

商号	東京建物株式会社 Tokyo Tatemono Co., Ltd.
設立年月日	1896年(明治29年)10月1日
資本金	92,451,442,786円

● 株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式総数	216,963,374株
株主数	14,690名

● 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
配当基準日	期末：12月31日 中間：6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

(2018年6月30日現在)



東京建物グループのCSR活動のご紹介

「都市の未来に貢献する」まちづくりを実現していくために、東京建物グループが取り組んでいるCSR活動をご紹介します。



URL ▶ <https://www.tatemono.com/csr/>



個人投資家向けホームページのご案内

個人投資家の皆様に東京建物をより知っていただくために、様々なIR情報をご紹介します。



URL ▶ <https://www.tatemono.com/ir/individual.html>